



劣情を捨てよ。やうば扉は開かれん。
Show Girls Ship、いかにあり。

Watching Carefully

取材・文／竹中 聡（本誌） 撮影／畑中 勝如

PREOPENING PARTY JUST ONE NIGHT STAND SEXY & FOXY @Club SOLID GOLD

キャリアを重ねたDJが渾身のサウンドでフロアを満たす。ライティングは艶やかにしてハード。ギャルソンの立ち居振る舞いはホテルマンにも似て、ステージ中央に鎮座するポールは白銀色に輝き、スラブ系ダンサーの肌はどこまでも白く、肉体はどこまでもしなやか。目に見えぬ衣をまとった唄わぬディーヴァたちは、鍛え抜かれた肉体と技と天井まで届くポールをパートナーに、派手なステップのかわりに、常人では真似のできないアクロバティックなポーズを披露する。

この夜、祇園の一角、とあるビルの2階で起こったシーンに、捉え方は二種類ある。「ストリップだと思ふ」か「ポール・ダンスだと言えり」か、だ。

「夜の店では、とかく外国人イコール、イリーガルなイメージで語られるが、ハイクレードな『ヨーロッパエンターテインメントショークラブ』と謳う場所にはそれは当てはまらない。行き場のない男たちが集うよりも、妻や恋人と連れ立ってショーを堪能する。それがこの店のコンセプトだ」。オーナーである大原昌桂さんはそう語る。

「ありとあらゆるローカルな映画を観ました」。一方こちらは店舗のデザインを手掛けた有限会社NADA社長・原田博史さんの言葉だ。「アイズ・ワイド・シャット」「ショー・ガール」など、美しい裸体やステージを題材にした映画はもちろん「ドラキュラ」の中に出てくるVIPルームや「シャイニング」に登場するゴールドルームに至るまで、ありとあらゆる妖艶なニュアンスを放つ空間を研究した。ありとあらゆる妖艶なニュアンスを放つ空間を研究した。一方プロデューサーの金正邦宏さんによれば、キーワードは「近未来的なゴシック感覚」「赤と金とクリスタルの空間」、今まで京都になかったダンサーとショーのクオリティの高さがアピールポイントであるという。

とある映画監督は言った。「ヌードも衣装のひとつだ」と。「SEXY」は「淫猥」ではなく、「ショー」は「出し物」ではない。「エンターテインメント」は「賑やかし」ではなく、「オペレーション」は「下卑た歓声」でない。

ここは祇園。クラブと言うにはおとなしい、完成したのはひとつのシアター。そしてエグゾーティックなこの劇場に、劣情は決して似合わない。



ダンサーの身体を見て「身体鍛えないとなあ」と言いながら、女性がふたりで訪れ、心からダンスとショーを楽しむ。この店が求めるひとつの姿だろう。「あの映画に似てる、ほら、あの…」コヨーテ・アクリー? 「そうっ、それっ」とYokoさん(左)とリエさん



同店をデザインした原田博史さん(右)。「下品な店にはできないし、苦労話を言えば他にも山ほどありますがねえ? 金正さん(笑)」。「世界感をつくり上げるために、いやになるほど映画や資料を見てもらいました(笑)」というプロデューサー金正邦宏さんとともに



2年前から準備を進め、満を持して11月に正式オープンをするオーナーの大原昌佳さん。「ショーマンシップをお見せする場ですから、ダンサーには『太っちゃダメ』と指導しているし、お客様にも是非ドレスアップして楽しみに来てほしいね」と胸を張る



右は同店と同じく祇園でワインバーを営む武田誠さん。「僕の店ではできないことだから、祇園に刺激ができて良いことですよ」とご推挙。近く独立してダイニングバーのオープンを控える中村武典さんとともに

キャリア25年を数える、ベテランDJの庄司哲明さん。昨年春、17年の幕を閉じた西賀茂の伝説的DJインバー「giraffe 42」のオーナーにして、ディスコ全盛時代から今なお現役でフロアを暖める。京都の夜遊びの生き字引にして、数少ない本物のDJ



出ました。「祇園HIGHNESS」の偉丈夫ボス・上田淳一さん。「こういうショーを撮らせたらうるさいよ。でもあまり難しいことは言かんといて(笑)」と余裕綽々。周りの女性はもはや「並べてる」感じ。実に場に良くお似合いだった



ダンサーのひとり、from SLOVAKIAのジョアンナさん。「Yes, I like dance very much」。誇らしげに笑顔でひとこと。力要るでしょ? という問いに、予想どおり力強く美しい腕を見せてくれた

ラウンジスペースにて、ひとりで「観劇」中だった高木早智子さん。力強いボールダンスに「お尻がすごいキレイ…。腕の力もスゴイですよ。スポーツを観てみたい」と感心を過り過ぎて感激の様子



ダンサーたちのヘアメイクを担当した中野博之さん。「彼女たちプロだから、あれだけ激しい踊りをしてるのに汗かかないんですよ。おかげで仕事がかん(笑)。プロフェッショナルズを聞く相手は裏方さんが一番だ

